



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2023 年 7 月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに回復している。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。観光は回復が続いている。住宅投資は、貸家を中心に、増加の動きがみられている。公共投資は持ち直しつつある。設備投資は増加が続いている。

生産は、電子部品・デバイスを中心に、増加している。企業の業況感は、全体として緩やかに改善している。雇用・所得環境をみると、雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが広がっている。消費者物価指数の前年比は、3%程度となった。

先行きについては、物価上昇のほか、企業の人手不足感の強まり、海外経済・金融を巡る不確実性の高まりなどの影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。財消費、サービス消費ともに、緩やかに回復している。

5月の商業動態統計は、前年を上回った。6月の乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

観光は、回復が続いている。

5月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、貸家を中心に、増加の動きがみられている。

5月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、持ち直しつつある。

6月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、増加が続いている。

2023年度の設備投資（2023年6月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

5月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

2. 生産

生産は、電子部品・デバイスを中心に、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加が続いており、高水準で推移している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、持ち直しつつある。造船は、緩やかに増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、雇用者所得（常用労働者数×一人当たり現金給与総額）は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが広がっている。

5月の有効求人倍率は、1.24倍となった。4月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

5月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、3%程度となった。

5. 金融

5月の総預金は前年を上回った一方、貸出金は前年を下回った。

6. 企業倒産

6月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2023 年 6 月公表分）	今回（2023 年 7 月公表分）
景気全体 （据え置き）	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
個人消費 （据え置き）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。
観光 （据え置き）	回復が続いている。	回復が続いている。
住宅投資 （据え置き）	貸家を中心に、増加の動きがみられている。	貸家を中心に、増加の動きがみられている。
公共投資 （据え置き）	持ち直しつつある。	持ち直しつつある。
設備投資 （据え置き）	増加が続いている。	増加が続いている。
生産 （据え置き）	電子部品・デバイスを中心に、増加している。	電子部品・デバイスを中心に、増加している。
雇用・所得 （引き上げ） （5 か月ぶり）	雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締めが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。	<u>雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締めが進む中、賃金改善の動きが広がっている。</u>

（注）下線は、前回からの変更・追加。